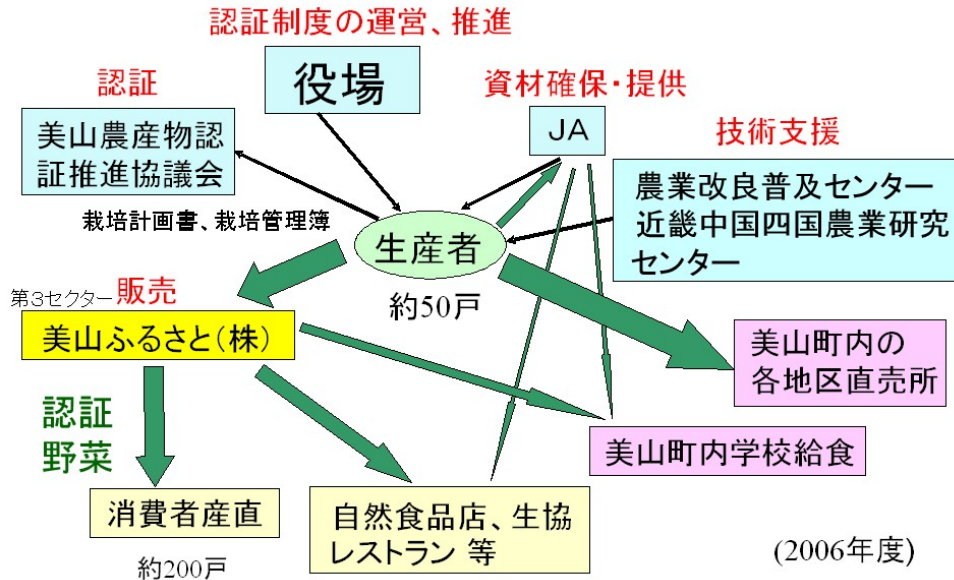


野菜だより(7) 中山間の売れる野菜づくり

— 綾部研究拠点 —

中山間地域の中でも、まとまった耕地が少ないところでは、野菜づくりは少量多品目の生産が多くなります。売り先は、大都市向けの市場流通というよりも、直売店や消費者への宅配、学校給食への販売割合が高くなります。こうした売り方では産地の特徴をアピールすることが大切で、京都府南丹市美山町では認証野菜制度のもとで農薬や化学肥料を減らした野菜づくりに組織で取り組んでいます。この認証野菜制度は、野菜生産者を中心にさまざまな機関が力を出し合って運営していますが、末永くやっていくには安定した販売先確保が大切です。綾部研究拠点では、消費者との交流や消費者からの生ゴミ堆肥還元など循環型産直が有望と考え成立要件を研究中です。



認証野菜の生産・販売体制



循環型産直交流会での生ゴミ堆肥づくり講習